

話し合ったテーマ 基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

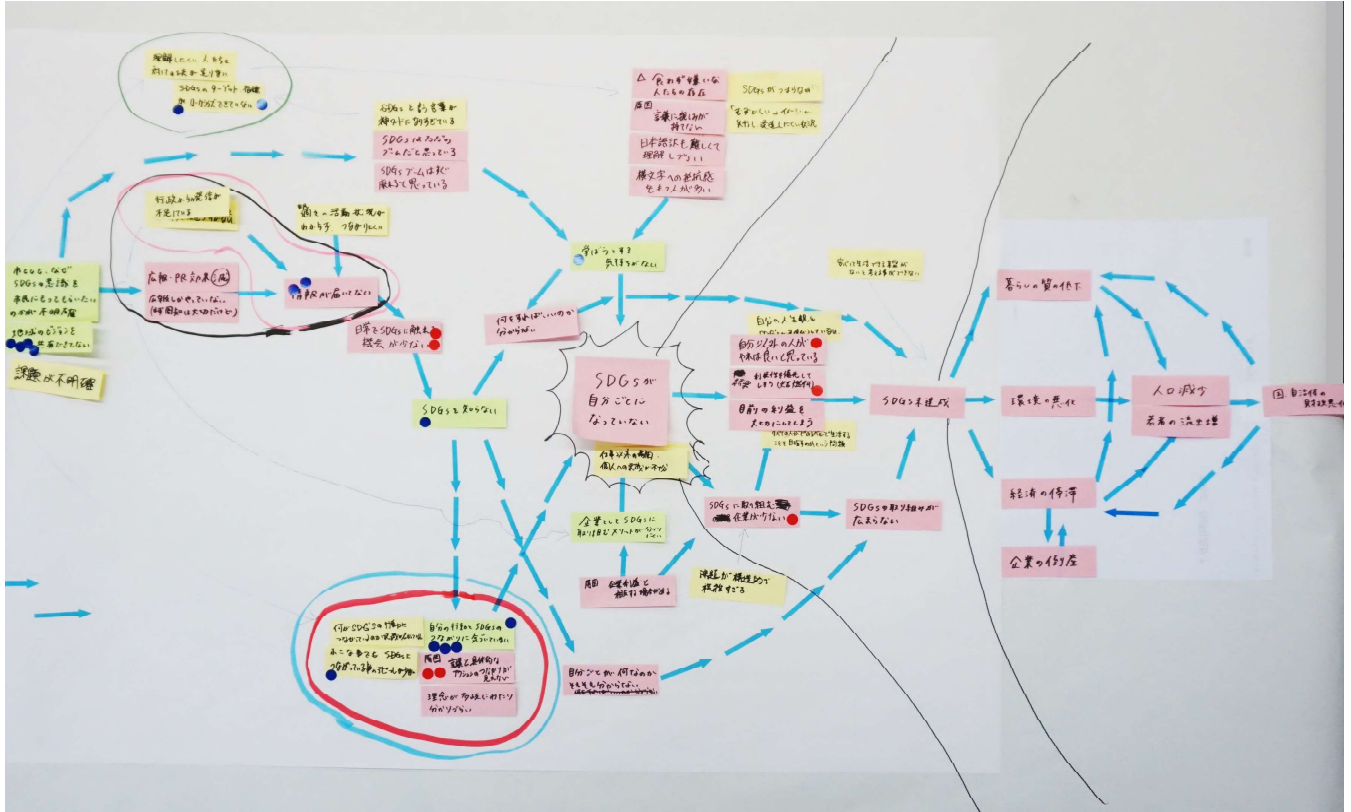
SDGs の理念を市民一人ひとりが自分ごとにするためにできること

自治体名

桐生市

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか?を、「問い」のかたちにもとめました。

1 行政と各団体の連携不足

SDGsに触れる機会の創出が不十分な桐生市（行政）が、市民の各団体と協働することで、市民一人ひとりにSDGsを行動に移してもらうために、何が可能か？

2 自分の行動とSDGsのつながりに気づいていない

「SDGs」を漠然と理解しながらも日常の行動とSDGsの繋がりに気づいていない子育て世代が、日頃の暮らしの中の行動を顧みて、何か一つでも変えるために、何が可能か？

3 SDGsについて学ぶ場がない

「SDGs」を漠然と理解しながらも日常の行動とSDGsの繋がりに気づいていない高齢者が、学びの場を得ることで自分の行動と「SDGs」の繋がりを理解するために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

<p>地域で子育てコンビニサービス</p>	<p>急な用事ができてしまい、少しの間子どもを預かって欲しいとき、近所のコンビニで一時的な託児所スペース（有料）を設置し、短時間子どもを預かるサービスを実施する。登録したコンビニに空きがあれば、30分から2時間程度預かってもらえる簡易託児所。</p>	<p>SDGs ひもかわ</p>	<p>17色のSDGs ひもかわうどんをつくる。地元産の小麦に地元産の食材を練り込んだ17色に輝くうどん。5〜6色ずつ環境麺、経済麺、社会麺に色分けしたり、KIRYU SDGs PROJECTでブランド化を目指す。</p>
<p>SDGs お店マップ</p>	<p>SDGsに取り組みそうと思いついたとき、地球に優しいお店やサービスを探したいときに、誰でも、利用するとSDGsの取組につながるお店の情報を得ることができる。</p>	<p>持続可能な子育てを後押し?! SDGs 母子手帳</p>	<p>母子手帳や子育てガイドブックにSDGsのページをつくる。SDGsの目標に合わせて、子育てに関連する情報を手に入れられる母子手帳を制作。例えば、3全ての人に健康と福祉を→病院情報 4質の高い教育をみんなに→保育園、幼稚園情報など</p>
		<p>桐生で1泊2日SDGsを考える体験</p>	<p>SDGsについて学びようとしたとき、誰でも、SDGsコーディネーター協力のもと1泊2日のSDGsを意識した生活ができる。再生可能エネルギーの活用や廃棄食材のみを使用した料理教室、公共交通で自転車を使用した外出など。</p>